

企画展

朝鮮通信使の通った

1607-1811 FROM KOREA TO OHMI

道

支えた

人びと

近江の朝鮮人街道

江列蒲生郡八幡町絵図

耳人形(近江八幡町蔵)



小幡人形(近江商人博物館蔵)



令和7年 7月23日(水)~9月1日(月)

会場 : 高月観音の里歴史民俗資料館 2階展示室
開館時間 : 午前9時~午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)
休館日 : 火曜日、祝日の翌日
入館料 : 大人350円(団体300円) / 小・中学生150円(団体130円)
主催 : 長浜市

※団体は20名以上、長浜市・米原市の小・中学生は無料。
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方及び
その付添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)

高月観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺229 TEL 0749-85-2273

小幡人形(近江商人博物館蔵)



1607-1811

FROM KOREA TO OHMI

TAKATSUKI KANNON-NO-SATO HISTORY AND FOLKLORE MUSEUM

企画展

朝鮮通信使の通った

近江の朝鮮人街道

道^{支えた}人びと

令和7年 7月23日(水)～9月1日(月)

朝鮮通信使は江戸時代、慶長12年(1607)から文化8年(1811)にかけての約200年間に12回来日しました。朝鮮・漢城を出発した一行は釜山から海を渡り、対馬を経て瀬戸内海を進み、京都で上陸して江戸へ向かいました。道中、近江国では野洲から鳥居本にかけての「朝鮮人街道」を通り、地域の人びとに経済的にも文化的にも大きなインパクトを与えました。長浜は通信使の通った道からは外れていますが、雨森芳洲をはじめさまざまな人びとがその通行を支えました。

この企画展では、朝鮮人街道を通った通信使一行とそれを支えた人びとの関わりを取り上げ、地域に与えた影響をたどります。



諸國六十八景 近江櫻針嶺(津津街道交流館蔵)



小韓人形 近江市蔵

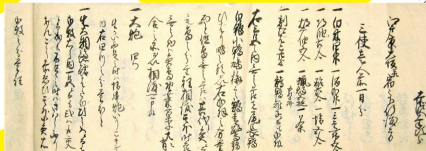
小韓人形 近江商人博物館蔵



小韓人形 東近江市蔵



小韓人形 東近江市蔵



朝鮮人來朝大津駅記(横田家文書)



展示説明会

令和7年8月2日(土) 午後1時30分～

会場:高月観音の里歴史民俗資料館 2階展示室

高月観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺229 TEL: 0749-85-2273